

<広報の学校>

「入門危機管理広報」講座のご案内

①会場聴講（推奨）、または②オンライン ZOOM 配信（アーカイブ視聴付き）

から選択できます

—10月9日（水）10:00～16:00—

広報の学校
(共同ピーアール総合研究所)

ウクライナ戦争、ガサ紛争やサイバー攻撃などのグローバルリスクに加え、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関連するリスクやハラスメント・過労死問題、品質データ偽装、個人・機密情報漏洩、事故・リコール等が続発し、ますます危機管理の重大さが身にしみる日々が続いています。

一方で炎上をはじめ SNS が危機管理に大きな影響を与えるようになりました。近年、企業を取り巻く環境が激変する中、リスク要因が多様化し、新たな危機に直面するケースが急激に増加しています。企業が危機管理（メディア対応）で失敗し、重大なダメージを被る事例も相次いでいます。

危機管理の巧拙と緊急時のクライシスコミュニケーション（危機管理広報）がブランド維持とダメージ軽減に大きく寄与する重要性が認識されながらも、実際には、では具体的にどうすればいいのかと悩む企業の担当者が多く存在します。

万一、重大事が発生しマスコミが殺到した時の対応はどうか
具体的に緊急時のメディア対応はどうか

本講座はこのようなニーズに応じて企業・団体の広報、総務、危機管理の責任者・担当者を対象にした、危機管理の基本と実践的なノウハウを習得する、危機対応能力向上のための講座です。
危機管理の基礎、実務教育の一環としてご参加くださいますようお願い申し上げます。

※ 当総研では、受講効果を高める視点から原則として「会場受講」をお願いしておりますが、どうしても会場受講が難しい方は、例外的に配信での受講も可能です。「オンライン配信」でのご参加を選択された場合、当日の配信に加え、アーカイブ視聴期間中（1ヶ月）は何度でも繰り返し視聴ができます。

敬具

「入門危機管理広報」講座 実施概要

■対象者 広報、総務、危機管理部門の責任者・担当者

■本講座の特色

- 具体的な事例研究と実践的対策
- SNS（炎上）リスク対応ノウハウの習得
- 最近の企業不祥事の傾向（トレンド）と今後の方向性
- 危機管理の基本（基礎）から具体的なクライシスコミュニケーション（危機管理広報＝メディア対応）の実務知識、スキルの習得

- 講座概要 詳細はカリキュラムをご覧ください。
- 日 時 2024年10月9日(水) 10:00～16:00
- 会 場 共同ピーアール セミナールーム (東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10階)
オンラインでご参加の場合は、講座の2日前までに ZOOM URL をお知らせいたします。
- 講 師 矢 篤 浩紀 (共同ピーアール総合研究所 主任研究員)
- 受 講 料 46,000 円 (消費税、レジュメ代含む)

■申込方法: ウェブサイトページからお手続きください。

⇒ インターネット検索サイトで「共同ピーアール セミナー」と検索し、申込フォームにお進み下さい。

その際、①会場聴講、または②オンライン配信のどちらかを選択し明記願います。

アドレス: <https://www.kyodo-pr.co.jp/seminar>

※お申込み受け付け後に自動返信メールにてお申込確認情報が届きます。

※催行人数に満たない場合には、中止になることもございます。

■申込締切 10月2日(水) 17時必着

■支払方法 請求書は PDF でお送りいたします。記載のお支払い期限までにお振込みください。

※郵送をご希望の場合には、その旨記載ください。

<振込先> みずほ銀行(0001) 八重洲口支店(026) 普通預金 口座番号:2677982

口座名義: 共同^{キョウドウ}ピーアール株式会社 セミナー^{グチ}口

●参加方法は2つあります

- ① 「会場聴講」の方: 講座開始 10 分前にセミナールームで受付をお済ませください。
- ② 「オンライン配信」の方: 当日会場に来られずとも、遠隔で講座を聴講できます。

ZOOM に登録いただきご参加ください。

当日見逃した方は後日、アーカイブ視聴期間(1ヶ月)中であれば視聴可能です。

繰り返し受講されたい方もご活用ください。アーカイブ視聴期間は別途ご連絡いたします。

<お問い合わせ先> メールでご連絡ください。担当が一両日中にはご返信をいたします。

「広報の学校」事務局 seminar@kyodo-pr.co.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10F

「入門危機管理広報」講座 カリキュラム

時 間	講義テーマ	内 容	講 師
講座 1 10:00～10:50	危機管理事例研究	「謝罪会見で、失敗した記者会見と成功した記者会見にはどんな差があったのか？」 知床遊覧船事故と日大アメフト部の部員による記者会見のケースについて、報道内容をもとに分析し、メディア対応のポイントをレクチャーします。 【主な分析項目】 ・会見の発言内容・会見者の発言への姿勢はどう報じられる？ ・「謝罪会見」のあり方についての分析と考察 など	矢島浩紀
10:50～11:00	休 憩		
講座 2 11:00～12:00	SNSリスク対応 (炎上・フェイクニュース)	炎上（影響／拡大プロセス／対応のポイント／未然防止策／炎上対策／電凸対応） 演習（炎上時の広報対応＜コメント作成＞） フェイクニュース（背景／関与者／影響力／コスパのよさ／見破るには）	
12:00～13:00	休 憩		
講座 3 13:00～14:20	危機管理の基本	企業不祥事の5つのトレンド／危機管理の目的／リスクとクライシス／4つのリスク対応／リスク評価／危機管理広報とブランド回復プロセス／なぜ失敗するのか／平常時広報と危機管理広報の違い／プロセス／5つのダメージ／企業批判の三分野／危機管理の基本	
14:20～14:30	休 憩		
講座 4 14:30～16:00	危機管理広報	危機時の広報担当者の業務／マスコミの企業不祥事への視点／電話対応のポイント／対面取材のポイント／緊急記者会見が必要なケース／緊急記者会見の意味と基本原則／記者会見対応のポイント／避けるべき失言／出席者の注意／コメントの注意／態度／Q & A作成のポイント	

<講師プロフィール>

●矢島 浩紀
共同ピーアール総合研究所 主任研究員



慶應義塾大学法学部政治学科卒

東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了 NHK にて 26 年、報道記者として国内外の大事件、大事故、不祥事などの取材に関わる。千

葉県警の不祥事、歌舞伎町ビル火災、911 同時多発テロ事件、東日本大震災、南北首脳会談、韓国大統領選挙などのニュースを取材、報道する仕事に携わり、取材指揮の責任者を経る。2022 年 11 月共同ピーアールに入社。主に国際業務と危機管理マネジメントに従事し、とくに危機管理では、記者経験を踏まえたコンサルティングを行っている。2022 年 12 月、当総研主任研究員を併任。